

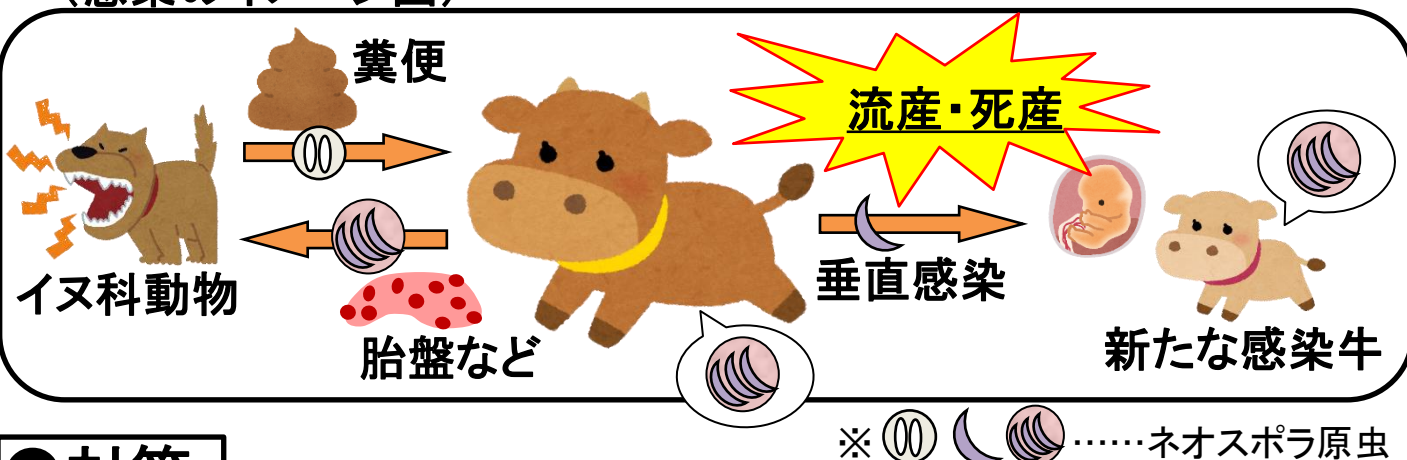
ネオスポラ症に注意！！

県北家畜保健衛生所

●「ネオスポラ症」とは

- ・目では見えない小さな寄生虫が原因の病気です。
- ・犬やキツネなどの野生動物の糞便から牛に感染します。
- ・牛に流死産(主に妊娠3～8か月齢)を引き起こすほか、
虚弱な子牛や正常に見える感染牛を分娩することがあります。
- ・感染牛は生涯寄生虫を保有し新たな流死産を引き起こします。

(感染のイメージ図)



●対策

- ・有効な治療法及びワクチンはありません。
- ・飼い犬や、野犬などの動物を牛舎に入れないことが重要です。
- ・流産胎子や胎盤は、牛舎内に放置しないようにしましょう。

農場で流死産が続く場合には……

家畜保健衛生所へ御相談ください！

- 必要な検査材料
- ☐ 死亡した胎子、または鑑定殺をしてよい虚弱牛
 - ☐ 胎盤(当日出てきていない場合は、出てきてから)
 - ☐ 母牛の血液、流産歴がある同居牛の血液

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825

